

# 社会福祉法人さくら園

第23号

令和7年8月1日発行

〒943-0823 上越市高土町3丁目4番2号 電話/025-530-7160 FAX/025-530-7161



ホームページ



とも  
みらいへ



この言葉を通して  
たくさんの人に  
感謝の気持ちを伝えたい



# さくら園交流会

令和6年10月12日

さくら園交流会は、普段関わりの少ない他工房の利用者との交流を目的として、運動会と作品展を1年おきに開催しています。今回は各工房が4チームに分かれ、「菓子食い競争」「玉入れ」などの競技を通して親睦を深めました。応援や声援が飛び交い、心地よい一体感が生まれました。

交流会は新型コロナウイルス流行による中止を経て、令和4年度からはアート展として再開しました。体を動かし一体となる運動と、芸術作品を通して交流するアート展は、普段見ることのできない利用者の表情や感性を見つけられる機会となり、今後も一層盛り上げていく行事です。

## さくら園創立40周年に寄せて



理事長 石黒 徹

このたび、社会福祉法人さくら園は、創立40周年という節目の年を迎えることができました。利用者の皆さま、そのご家族、職員、そして地域社会の皆さまの長年にわたるご理解とご支援に、心より感謝申し上げます。

私自身、理事長に就任して2年目となりますが、さくら園との関わりは長く、以前は居多さくら工房保護者会の会長として、また、保護者会ネットワークの会長としても活動してまいりました。そして今は法人の運営を担う立場として、さくら園の存在の大きさを日々実感しています。

さくら園は、障がいのある方々が安心して暮らし、自分らしく社会と関われるよう支援を続けてきました。現在、約230人の利用者と130人の職員が共に日々の営みを重ねています。創立以来、職員一人ひとりが支援の質を高め、利用者の可能性を信じて寄り添ってきたことが、今日のさくら園を築いてきた原動力です。

さて、障がい者福祉を取り巻く環境は年々変化しています。制度の変遷、ニーズの多様化、そして人材の確保や地域共生社会への対応など、課題は決して少なくありません。そのような中でも、私たちは「人を真ん中に据えた福祉」を忘れず、利用者一人ひとりの尊厳と意思を大切にしたいと支援をこれからも追求してまいります。

今後は、より開かれた法人運営をめざし、地域や関係機関との連携をさらに深めていくとともに、職員の育成と働きがいにも力を注いでいく所存です。そして、保護者の皆さまと共に、利用者の人生に寄り添う「伴行者」であり続けたいと願っています。

40年という歴史は、多くの方々のご想いと努力の積み重ねです。これからの10年、20年に向け、私たちはその歴史をしっかりと受け継ぎながら、新たな一歩を踏み出してまいります。今後とも、さくら園へのご支援とご協力を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

## 「ともにみらいへ」を考える



本部長 樺澤 聡子

さくら園は、多くの利用者・ご家族、地域の皆様、そして行政をはじめとする関係各所のご支援に支えられ、法人設立から40年を迎えることができました。心より感謝申し上げます。

この40年の歩みの中で、私たちはさまざまな「宝」を得て育んできました。

第一の宝は、工房に通所しながら、私たちとともに必要なサービスを提供してくださった利用者・ご家族の皆様です。

第二の宝は、地域の皆様からの信頼をいただきながら、地域とともに歩み、発展してきたという実績です。

そして第三の宝は、当園を支えてくれている職員です。制度の移り変わりの中にあっても、常に柔軟に対応し、「利用者第一」の姿勢で支援に取り組んできてくれました。

現在、さくら園には地域の皆様から多様な要望が寄せられています。なかでも重い障がいのある人の福祉サービスへの期待が大きいことを実感しています。地域で多様なサービスが展開される今、私たちに求められる役割を改めて問い直し、どのようにその期待に添えていくべきか、そして今後どの方向へ歩んでいくべきかを真剣に考えなければなりません。

これまで育んできた宝を大切に守りながら、地域の声に丁寧に耳を傾け、ともにみらいへと歩んでまいります。今後とも変わらぬご支援、ご協力を賜りますよう、お願い申し上げます。

# さくら工房

就労移行 生活訓練 就労継続B型



農家に出向き、田植え後の苗箱洗い



新井P Aで除草作業

## 施設外就労

さくら工房は、今年度工賃増額に向け主力の園芸部門で近隣の学校、企業への販売に力を入れています。春から営業に行き、新規注文をしていただきました。学校からの注文では、生徒と一緒に花植えなどの活動を予定しています。

施設外就労は昨年に引き続き、企業、団体から依頼をいただきました。作業を効率化、細分化して作業量アップを目指し、汗を流しています。



大自然の中でしいたけの駒打ち

## 就職おめでとう

水野 寿彦さん（株式会社テラスカイ）

# つばき工房

就労移行 生活訓練 就労継続B型

検品工程

包装工程



飲食店用おしぼり生産作業

袋詰め工程



クリーニング後の衣類畳み作業

## つばき工房の利用者さんにインタビューしました！

- Q 「つばき工房での様子を教えてください」
- A 「自分が成長するために色んなことに挑戦しています。毎日楽しいです」
- Q 「つばき工房を紹介してください」
- A 「利用者も職員もみんな優しいです」  
「毎月の工賃支払日が楽しみです。作業を頑張れば、増えると思ってはりきっています」

## 就職おめでとう

早津 優太さん（株式会社 新潟県厚生事業協同公社）

# 北さくら工房

就労移行 就労継続B型

北さくら工房は、障がいのある人が地域の中でいきいきと働き、就職を目指す施設です。就労支援B型を中心に、個々の目標に応じてさまざま支援を提供しています。



クッキーやシフォンケーキ、マドレーヌ、ガトーショコラなどを『Kitasakura sweets』として製造・販売しています。素材の持ち味を大切に、手作業で丁寧に仕上げているので、地域のイベント等でも好評いただいています。

## 施設外就労



折り込み作業

## 職場実習



段ボール組立やゴミ袋の袋詰め作業、空き缶回収などの多様な作業を提供しています。就職に向けて実践的プログラムや生活スキルの向上を目指し活動。「働く力」と「自信」を育てていきます。

# 南さくら工房

## 生活介護

アートや音楽活動などの表現活動、日々の自主課題を通じて、一人ひとりがのびのびと自分らしさを発信しています。楽しみながら取り組む時間は、笑顔と自信を育てます。表現する権利と、ありのままの個性を大切にしています。

## 放課後等デイサービス

作業療法士、看護師、支援員が個々の個性、発達段階に合わせて支援を行っています。感覚統合を意識した遊びを通じて「できた!」という喜びを積み重ね、成長を引き出します。



できた!  
の積み重ね



音楽で  
広がる笑顔



心を描く  
アートの時間



# 居多さくら工房

生活介護事業所として缶分別や受託作業、雑巾縫い・販売の『作業』と、体力づくりや自立課題といった『余暇支援』を行い、活動にメリハリをつけています。生活する力を高めるために買い物や行事参加など、地域に出る機会を増やし、利用者一人ひとりが自分らしく過ごせるよう自己選択の機会を設けています。



体力づくりのための歩行



廃油捨て袋折り作業



買い物訓練



余暇支援、習字

# さくらホーム



スイーツ作り頑張りました



ボランティア来訪  
初めての寿司握りに挑戦



地域の避難訓練に参加  
協力ありがとうございます

## 余暇支援

グループホームの休日は、ゆっくり居室で過ごす日もありますが、趣味の活動や外出など、楽しいこともしています。

また、町内の清掃活動や避難訓練などにも参加し、地域との交流も大切にしています。



休日に仲間と外出

# 職員研修

職員は日々研鑽に努めています



権利擁護のためのマナー、接遇講座



事故防止のためのリスクマネジメント研修



救命救急講習会を開催



## 寄付・助成

アメリカのハウメット社から、15,000ドル（約213万円）の寄付をいただき、令和6年10月に贈呈式を行いました。



## 利用者の経験を広げる活動に活用しました。



テーブルマナーを学ぶための会食会



余暇支援のためのりんご狩り



米袋を使ったエコバッグ作り

### ■さくら園

- ・匿名（20,000円）
- ・公益財団法人真柄福祉財団（瑞宝太鼓公演招待 90人）
- ・ハウメット・システムズ・ジャパン株式会社（1万5,000ドル）

### ■さくら工房

- ・日鉄工材株式会社（75,000円）
- ・青野果樹園（ル・レクチェ）
- ・新潟県労働金庫 高田支店（25,000円）

### ■つばき工房

- ・つばき工房保護者会（ポッチャ 1セット）
- （パイプ椅子 5脚）

### ■北さくら工房

- ・直江津更生保護女性会（雑巾）
- ・一般社団法人芳心会（エブリィ100万円助成）

### ■居多さくら工房

- ・公益財団法人真柄福祉財団（プロジェクター1台）

## 苦情解決

令和6年度は4件の苦情が寄せられました。

- 送迎車両の運転に関すること……………1件
- 支援に関すること……………3件

皆様からのご意見をもとに、安心して利用していただける施設になるように努めます。

# さくら園の財政状況 (令和6年度決算)

## ● 貸借対照表

(単位：円)

資産の部		負債の部	
	当年度末		当年度末
流動資産	355,121,743	流動負債	30,111,956
現金預金	219,907,598	事業未払金	18,838,847
事業未収金	97,074,446	1年以内返済予定リース債務	8,060,468
未収補助金	33,660,918	預り金	88,920
貯蔵品	97,420	職員預り金	3,123,721
商品・製品	1,281,645		
仕掛品	184,760		
原材料	838,664		
前払金	792,950		
前払費用	1,283,342		
固定資産	705,899,136	固定負債	27,103,370
基本財産	469,703,643	リース債務	14,659,370
土地	144,797,017	退職給付引当金	12,444,000
建物	324,906,626	負債の部合計	57,215,326
その他の固定資産	236,195,493		
		純資産の部	
建物	3,633,347	基本金	145,982,064
構築物	15,549,321	第1号基本金	129,183,242
機械及び装置	6,921,110	第3号基本金	16,798,822
車輛運搬具	12,922,590	国庫補助金等特別積立金	217,123,406
器具及び備品	11,810,943	その他の積立金	149,611,000
有形リース資産	14,779,378	施設整備等積立金	76,611,000
権利	213,224	人件費積立金	73,000,000
ソフトウェア	202,500	次期繰越活動増減差額	491,089,083
無形リース資産	7,786,790	(うち当期活動増減差額)	11,640,344
退職給付引当資産	12,444,000		
施設整備等積立資産	76,611,000		
人件費積立資産	73,000,000		
長期前払費用	321,290		
その他の固定資産	0		
資産の部合計	1,061,020,879	純資産の部合計	1,003,805,553
		負債及び純資産の部合計	1,061,020,879

## ● 資金収支計算書

(単位：円)

	勘定科目	当年度決算
事業活動による収支	収入	
	就労支援事業収入	41,952,218
	障害福祉サービス等事業収入	633,233,287
	経常経費寄附金収入	2,249,550
	その他の収入	2,629,670
	事業活動収入計(1)	680,064,725
支出	人件費支出	473,184,179
	事業費支出	60,381,219
	事務費支出	59,266,681
	就労支援事業支出	41,694,590
	その他の支出	588,052
	事業活動支出計(2)	635,114,721
	事業活動資金収支差額(3)=(1)-(2)	44,950,004
施設整備等による収支	収入	
	施設整備等補助金収入	1,186,000
	固定資産売却収入	34,180
	施設整備等収入計(4)	1,220,180
	支出	
固定資産取得支出	5,379,557	
ファイナンス・リース債務の返済支出	8,896,434	
	施設整備等支出計(5)	14,275,991
	施設整備等資金収支差額(6)=(4)-(5)	△ 13,055,811
その他の活動による収支	収入	
	その他の活動による収入	8,820
	その他の活動収入計(7)	8,820
	支出	
	積立資産支出	6,249,500
その他の活動による支出	27,413	
	その他の活動支出計(8)	6,276,913
	その他の活動資金収支差額(9)=(7)-(8)	△ 6,268,093
	予備費支出(10)	-
	当期資金収支差額合計(11)=(3)+(6)+(9)-(10)	25,626,100
	前期末支払資金残高(12)	305,139,086
	当期末支払資金残高(11)+(12)	330,765,186

## ● 事業活動計算書

(単位：円)

	勘定科目	当年度決算
サービス活動増減の部	収益	
	就労支援事業収益	41,952,218
	障害福祉サービス等事業収益	633,233,287
	経常経費寄附金収益	2,249,550
	その他の収益	899,000
	サービス活動収益計(1)	678,334,055
費用	人件費	474,433,679
	事業費	60,381,219
	事務費	59,266,681
	就労支援事業費用	42,268,822
	減価償却費	53,346,319
	国庫補助金等特別積立金取崩額	△ 21,864,808
	サービス活動費用計(2)	667,831,912
	サービス活動増減差額(3)=(1)-(2)	10,502,143
サービス活動外増減の部	収益	
	その他のサービス活動外収益	1,730,670
	サービス活動外収益計(4)	1,730,670
	費用	
	その他のサービス活動外費用	588,052
	サービス活動外費用計(5)	588,052
	サービス活動外増減差額(6)=(4)-(5)	1,142,618
	経常増減差額(7)=(3)+(6)	11,644,761
特別増減の部	収益	
	施設整備等補助金収益	1,186,000
	固定資産売却益	33,178
	特別収益計(8)	1,219,178
	費用	
固定資産売却損・処分損	36,732	
国庫補助金等特別積立金積立額	1,186,000	
その他の特別損失	863	
	特別費用計(9)	1,223,595
	特別増減差額(10)=(8)-(9)	△ 4,417
	当期活動増減差額(11)=(7)+(10)	11,640,344
繰越活動増減差額の部	前期繰越活動増減差額(12)	484,448,739
	当期末繰越活動増減差額(13)=(11)+(12)	496,089,083
	基本金取崩額(14)	0
	その他の積立金取崩額(15)	0
	その他の積立金積立額(16)	5,000,000
	次期繰越活動増減差額(17)=(13)+(14)+(15)-(16)	491,089,083